

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦
幹事 村上 堅二

第1806回例会

令和6年5月24日 (18:30～19:30)



○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 佐藤幸彦会長 (ロータリー情報委員会 吉野委員長担当例会ありがとうございました。)
- 村上賢二幹事 (本日も例会にご参加ありがとうございます。)
- 永野文雄会員 (佐藤会長、村上幹事の年度がもう一ヶ月となりました。皆さんで頑張りましょう。吉野委員長さん卓話ありがとうございました。)
- 運天直人会員 (前回できませんでしたが、今日誕生日のお祝いを頂きありがとうございました。おいしそうなワイン、妻と一緒に楽しませて頂きます。)
- 金田昇会員 (ロータリー情報委員会担当卓話楽しみにしていました。明日からシンガポールでの国際大会に行ってきます。)

▶第1806回例会出席状況 (R6年5月24日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	70名
Ⓒ Ⓐの出席者数	20名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓕ Ⓑの出席者数	13名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	64
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	51.5%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 5月19日 2023-24年度地区研修協議会
阿部克弘、十文字光伸、堀田一彦、鶴丸彰紀、安部和夫、
諸橋和典、吉田充、山縣栄寿、成井正之、金田昇、藤田
龍文

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんばんは。まず初めに、任命状が届いておりますので、私代読になりますけども、5名の方に来ておりますので渡したいと思っております。

金田昇会員、前のほうへお願いしたいと思

います。

「任命状 白河西ロータリークラブ 金田昇殿 国際ロータリー第2530地区2024-25年度地区役職を下記のとおり任命いたします。



1、戦略計画委員会委員 1、会員増強委員会委員 1、

青少年奉仕委員会 青少年交換委員会委員 2024年7月1日 国際ロータリー第2530地区 2024-25年年度ガバナー早川敬介」

代読でございます。

藤田龍文会員、前のほうへお願いいたします。

「任命状 白河西ロータリークラブ 藤田龍文殿 社会国際奉仕委員会 国際委員会委員 早川敬介」代読でございます。社会国際奉仕委員会、藤田会員にはネクタイかな、ついております。

任命状 白河西ロータリークラブ 吉野敬之殿 RLI委員会ファシリテーター委員。あと二人。石川会員と諸橋会員に来ておりますけども、今日いらっしやらないので後日渡したいと思っております。次年度頑張っていたきたいと思います。



さて、会長の時間ということですが、だんだんネタがなくなってきました。2人の私の尊敬する人から教えてもらったこと。1人はF1ドライバーなんですけど、もう一人はプロゴルファーなんですけど、教えていただいたことをちょっと皆さんにご披露したいなと思っております。まず、元F1ドライバーの方から教えてもらったんですけど、単純なことなんですけど、ハンドルの握り方回し方なんですけど、皆さんおそらくハンドルを時計の長針短針で9時15分または8時20分程度では持つかと思うんですけど、ハンドルよく回すと言うんですけど、ワインディング道路を走る時には、ハンドルは押せて言うんですね。左コーナー曲がる時には右手を押すんです。運転姿勢が肩がシートについてないとぶれちゃいますよね。F1ドライバーなんかは全て背中をドンとつけてるわけなんですけど、こうやって腕を縮めて乗ってる人では余計体が芯がずれてしまうんですけど、体を背中をちゃんとつけたまま左コーナー曲りたい時には、右手を押すんですね。そうすると、背中に密着して安定したコーナリングができる。ハンドルを回そうとすると自分がこっち行っちゃうんですね。アウトの方行ってしまうのでブレてしまう。その時は、例えばスピンの時は逆ハンドルが切れなくなってしまうから、ハンドルは押せ。これ皆さん、やってみてください。確かにハンドル切れますから。ハンドルを押すと安定したコーナリングができるそうでございます。

またまた続いてつまらない話なんですけど、続いてプロゴルファー。この方皆さんもう多分知ってると思うんですけど、A級シードでプロゴルフ殿堂入りしてる方なんですけど、いろいろ一緒にやらせていただく機会が何回かあるんですけど、教えてもらったことはですね、ルーティンを大事にしろということですね。野球の話ですけど、イチロー選手がバッターボックスで打つ時に、右腕を上げて肩のこのユニフォームを直したりするんですけど、同じようなルーティン。ルーティンとは、日常的に行われる決まった手順や行動をいうんですけど、ゴルフの場合ルーティン大事にしろと言われたことは、ティーショットを打つ場合にフェアウェイに向かって何歩でスタンスに入るか。3歩で入る人いれば4歩でもいる。5歩は多すぎるよとかですね。ティーショット打つ場合に、皆さん大体フェアウェイの真ん中とか狙う、その真ん中では甘いという。フェ

アウェイ左サイドから10メートルって決めないとフェアウェイでは広すぎる。目的が広すぎる。あのバンカーを超えればいいや。あのバンカーを何メートル越すかということで決めてやりなさいということ言われてました。セカンドにおきましては 皆さん大体上手い人ばっかでしょうから、グリーン乗ればいいやっていう考える人が多いということですが、そのグリーンが右傾斜なのか左傾斜なのかによって、ピンより傾斜によってですけどもピンの右脇2メートルを狙うとか。手前の2メートルの右側とかですね、自分でもピンポイントを狭くしなさいということ教わりました。打つ前に言われるんですね。「どこ狙いの。」「はい、フェアウェイです。」「フェアウェイじゃない。フェアウェイの右から10メートルなのか、左から10メートルなのか自分で決めなさい。」って言われるんですね。グリーンもグリーン狙います。それは当たり前だと。ピンの右側狙うのか、左側狙うのか。そして、2メートルなのか3メートルなのか決めなさいと言われるんですね。それと、いやまっすぐ飛ばないんですよっていうことを質問したら、まっすぐ飛ばないじゃん、我々だって飛ばない。プロでさえフェード、ドロワーがほとんどで、まっすぐ飛ぶのはプロゴルファーでも難しいんだよ。素人が真っすぐ飛ばないのは当たり前だよと言われました。その自分がどのくらい曲がるかを計算してフェード並びにドロワーを打つ、計算して打った方がいいよと。ただ、私はフェードじゃなくてスライスになってしまう。もしくは、ドロワーじゃなくてフックになってしまう。その辺は練習が足りないということでした。あのルーティンの話になりますが、皆さんもとっくにやってるかと思うんですが、毎朝、朝起きた場合のルーティンって皆様あると思うんですね。コップ一杯の水を飲むとか、深呼吸をするだとか、歯を磨く、朝ごはんを食うというのは当たり前前のルーティンですが、そのルーティンを大事にしなさい。ルーティンをすることによって、その日の集中力が高まるし、良い1日が送れると。ましてや、ナイトルーティンというのがありまして、ナイトルーティン皆さん寝る前にもやってるかどうかわかりませんが、私はストレッチをやってます。まあ朝起きてもストレッチはするんですが、皆さんそれルーティンを必ずやろうと決めると、やらなかった場合には心理的負担がかかってしまいますので、できた時にや

ろうぐらいに簡単な考えで進めていただければいいのかなと思いました。本当につまらない話でしたけども。

さてロータリーの話ですけども、過日5月18日、「華の湯」において地区研修委員会が行われました。後程、報告があるかと思えますけどもよろしくお願ひしたいと思います。

また21日、おとといでございますが、阿部・十文字年度のクラブ協議会が行われまして順調に来年度スタートを今離陸態勢でしたかね。助走期間中かと思えますけども、期待したいと思います。また、同じ話になりますが6月2日、バイク愛好会が昭和村のほうに行きますので。これはちょっとオフレコですけども、オフレコにしておくんですが、泉崎の箭内村長も参加していただけるということになりましたので、出れる方。できれば50cc以上で参加をお願いしたいと思いますんで、よろしくお願ひしたいと思います。私の会長の時間、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

■幹事報告

村上堅二幹事

- 大野農園株式会社：ご挨拶
- 福島県特別支援教育振興会県南支部長 大河原健一：令和6年度福島県特別支援教育振興会県南支部総会開催について依頼
- 白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和6年度白河国際交流総合資料の送付並びに会費納入のお願い
- 白河市国際交流協会 内藤義久：白河市・コンピエーニュ姉妹都市提携35周年記念「黒須昇転」開催のご案内

■各委員会報告

○地区研修委員会の報告

山縣栄寿会員



それでは、5月19日におこなわれました地区研修会について簡単にご報告いたします。開催の場所は、磐梯熱海の「ホテル華の湯」という所で開催されました。こういったプログラムが配布されまして、午前10時から午後2時までみっちり研修というか、地区の考え方というか方針っていうんですかね。それを伺ってまいりました。11名で参加してまいりました。阿部会員が会長部会に出席、十文字会員が幹事部会、堀田会員が会員増強委員会、鶴丸会

員が公共イメージ・IT委員会、安部和夫会員が職業奉仕委員会、松永会員が社会国際奉仕委員会、吉田充会員が青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会、各委員会、わたくしがロータリー財団委員会、成井正之会員が米山奨学会委員会、あと金田会員が地区役員ということで。いろいろと次年度の方向性については今週の火曜日ですか、理事会がありまして、だいたい地区の要求の度合いは高いんですけども。あとは、西ロータリーとしてどういう形でやっぱりやっていくかっていうところの方向性が話されましたので、それが順次7月以降の新たな阿部・十文字・委員の方々の会になった時に推進されていくのかなと思います。ただ、やはり予算の争奪合戦が西ロータリーの中でちょっと行われるのかなということがありますので、その辺のような形になっていくのか、会計さん含めてきちんとやっていかなくちゃいけないのかなってというのは第一印象でした。簡単ではありますが、報告に変えさせていただきます。



○佐川京子会員



皆さん、こんばんは。先週、佐藤会長、村上幹事お二人で、わたくしの娘、先月4月19日急逝したんですけども、ご丁寧に弔問に来ていただきまして沢山のお心皆さんの頂戴いたしました。

本当にこの場をお借りいたしまして御礼を申し上げます。本当に急なことで、去年の12月19日にうちに突然娘から電話が入りまして、お母さん悪い知らせっていうような形で聞かされて。去年の夏くらいから胃の調子がおかしいとか、そしてまた秋に10月に下の子が1歳の誕生日でしたので、私たち誕生餅1升餅ついで行った時にも、娘はちょっと胃がって言うんですけども、まさかそんなことになってるなんてことはつゆにも思わず、多分本人もそうだったと思うんですけども、なかなか胃の調子が治らないで12月に入って検査したらもうと胃がんだったんですが。ステージ4ということで。おまけに腹膜の方にも転移してっていうような形で、手術も一応抗がん剤治療もすぐ始めたんですけども、なにせちょっと及ばずで、はじめ半年から1年なんて言われたんですけども年齢もあつたんだと思うんですが、昨年9月に30歳になったばかりということで若くて、多分それで進みが早かったのではないかなと思うんですが。もう3月に入ってすぐにまず危篤になってしまって、その後何とか一命取り留めて頑張ったんですが、4月19日、最初に聞かされてから本当にたった4ヶ月で逝ってしまいました。西ロータリークラブには子供の頃、小学校中学生の頃に納涼例会とかクリスマス会とか皆さんに本当にいろいろお世話になりました。私も本当にあまりのちょっと急なことで、なかなか心の整理つかないんですけども、皆さんにいろいろ励ましていただいておりますので頑張って、あと孫もいますのでなんとか頑張ってやらなきゃなっていうふうに思っているところです。この度は本当に皆さん、ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

■本日のプログラム

○ロータリー情報委員会担当例会

ロータリー情報委員会

吉野敬之委員長



皆様、こんばんは。ロータリー情報委員会担当例会ということで、以前はですね、多分ロータリー情報委員会って担当をあまり持っていなかったような例会を開くというようなことはなかったかなとは思いますが。昨年、中目パスト会長が、担当をして非常に有意義なお話をされたので、今年の担当プログラム委員会も、きっとなんかこれは

良いことがあるんじゃないかという思いで私に担当を任せたいと思いますが、さほど期待に応えられることはないと思うんですが、精一杯情報委員会の役目とかそういったもの皆さんのほうにお話をさせていただきたいと思います。お時間は20分程ということですので、もしかすると早めに終わるかもしれませんが、それと、あの先輩方が非常に多いので私ごときがお話をするような内容はもう既にご存知であったり、内容に一部間違いがあったりするかもしれませんが、ご指摘は後ほどお受けいたしますのでどうかお許しいただきたいと思います。

まず、ロータリー情報委員会というものが今お話したようにロータリーの基本理念を理解していただいて、クラブメンバーがその理念のもとに有意義に活動できるようにサポートをすることを目的としております。主に国際ロータリーの最新情報。3年に一度規定審議委員会というものが開かれまして、R Iと言われる世界ロータリーのほうで大まかなルール改正とかそういったものが行われます。そういったものを、皆様方のほうにお伝えをしてリリースする窓口としての役割を担っているということです。この前お話した、正規のマークはこれですよなんてお話もその一部かとは思いますが。でちょっと、あの内容にロータリーの基本情報でちょっと間違っちゃったんですけど。

まず初めに、ロータリーはどのようなことをする団体なのかということがですね、特に新入会員の方とか、まあ在籍何年目かの方でも、この部分って意外とご理解が進んでない方が多いかと思えます。これどの団体でもそうなんですけど、なんとなくふわっと入ってしまって、実際にこれ何やるんだらうっていうのがわからないまま過ごしているという方は結構多いです。私も実際そうでした。これは、マイロータリー皆さん100パーセント登録うちのクラブはしておりますので、マイロータリーを見ていただくとその中に明言されているんですが、ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨しこれを育むことである。具体的には、次の各項を奨励することにあるというふうになっております。

- ①知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- ②職業上の高い倫理基準を保ち役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータ

リアン各自の職業を高潔なものとする。

- ③ロータリーアン一人一人が個人として、また事業及び社会生活において日々奉仕の理念を実践すること。
- ④奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

というふうに規定されております。文書自体読み込むと結構まあ難解な文章であるのですが、この中に共通する単語が出てきております。それはもう皆さんお気づきだと思うんですが、奉仕という言葉でございます。これはロータリアンであれば、いつも例会やいろいろな会に行くと奉仕という言葉、随所で耳にすることだと思うんですが。つまり、要約するとロータリーってというのは奉仕を行うことを目的とした団体ですということでありまして、その奉仕と言われるものより良い質の高いものを行うために人的ネットワークを広げたり、仕事を一生懸命頑張って地域に貢献したりという奉仕、それを持続するために高い倫理観を保ちましょうというようなことが謳われております。なので、他の方これから会員増強とかをされる場合に、何か聞かれたら奉仕をする団体なんだ。じゃあ、どういう奉仕なんだって言われたら、ちょっとこれを覚えるの大変でしょうけど、これを読み込んでいただくとなんとなく理解はできると思いますので、そういうふうなことをする団体ですというふうにお話をさせていただければというふうには思っております。更に、同じマイロータリーの中に同じページに出てくるんですが、ロータリー活動というものも定義されております。切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たち単なる傍観者ではなく自ら行動する責任があると考えております。ロータリーは以下の分野に重点を置いて活動しています。平和の推進、疾病との戦い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地元経済の成長というふうな5つの項目が挙げられております。これを先程の目的と連動させて考えると、こういうことをやるために個人個人の奉仕をする体制、資質を成長させて、それでここに上げて5つの項目に該当するものに対していろいろな形で奉仕をしていきたいと思います。その5大委員会というものが組織図に出てくるのはご存知かと思うんですけど、それが実際に具体的にどういったところにどういふような奉仕をしていくかというような水先案内じゃないですけど、目標としてはその5つのものに絞って考えてま

すというようなことの表れということでもありますので、新入会員の方なんかは、そういった中をよく理解していただくとロータリーというのは何を活動して何のためにやって、僕は何のために動いてるんだろうということが理解ができるし、更には新しいメンバーを誘う時に、非常にそういう時にお話がしやすいかなというふうに思います。ここまではペーパーで出てくることでもありますので、後日マイロータリーのほう見ていただくと、また更に詳しくは出ておりますのでご覧になってみてください。

次に、3番目としましてDEIについてということが書いてあるんですが、これDEIっていうのは、大体皆さんご存知かと思うんですけども、近年企業経営においてはDEIという言葉が注目されているそうです。私もあまりよくわからないんですけどDEIとは、Diversity (ダイバーシティ)、Equity (エクイティ)、Inclusion (インクルージョン) の頭文字を取った言葉でDEIというふうに言われてるそうでございます。これロータリーでも何年前から国際ロータリーの中にもDEIの諮問委員会っていうのが設置されておりますし、地区ガバナーの重点項目等にもDEIという言葉は散見されるようになっております。じゃあ、このDEIってなんなんだっていうことですが、ダイバーシティというのが、ここに書いてありますけど図の中に書いてある個人や集団に存在する様々な違い。エクイティ、公平な扱い、不均衡の調整をおこなうこと。インクルージョン、一人一人の多様性が認められ、誰もが組織に貢献できるような状態というような定義がされております。

Diversity

個人や集団に存在する
さまざまな違い



Equity

公平な扱い、不均衡の調整
を行うこと



Inclusion

一人ひとりの多様性が認められ
誰もが組織に貢献できる状態



更に詳しく文章が載ってましたので読ませさせていただきます。

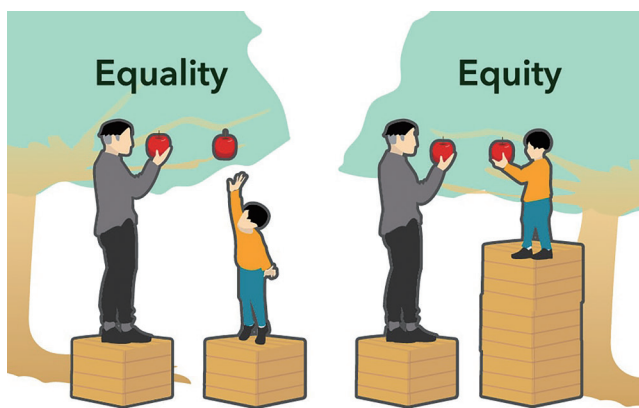
ダイバーシティとは多様性を意味し、個人や集団に存在する様々な違いのことです。年齢や性別、セクシヤリティ、人種、国籍、民族、宗教、障害などの違い

に関わらず、全ての人々にとって心地よい居場所があることを意味しているということでございます。

次にエクイティとは、公平な扱いという意味だそうですね。不均衡の調整を行う公平性を意味します。私たちは一人一人が異なるため全員が能力を発揮するには、一人一人に合った環境を整えることが重要という考え方がございます。

DEIを形作る要素として重要なエクイティですが、間違えやすい概念としてイクオリティがあるそうです。

全員に一緒の条件を与えるイクオリティでは図があります。



身長が異なる2人に同じ数の踏み台を準備します。そうすると、2人の身長差を考慮しないために背の低い子はリンゴを取る機会を得ることができません。しかし、エクイティでは上の右の図が示すようにリンゴを取るための機会を平等にするために、2人の身長差を考慮して踏み台を準備することになるそうです。これをロータリーに置き換えた場合にですね、後程もお話をさせていただくんですが、これ平井パストガバナーが仰っていたんですが、会費というものがうちの会費は18万っていうふうになってますが、18万を払える人だけがこのロータリー活動するというのはイクオリティである。結局そういう機会が得られない人たちの中にも素晴らしい力を持った潜在能力を持った人たちがいるんだと仮定するならば、その人たちには半額9万円の会費で活動していただくということも考えていくべきではないかというようなお話をされておりました。これ実際にはまだ具体的にはなっていないと思うんですが、まあ簡単にいうとそういうふうなロータリーで考えるとハードルを下げてあげたりする。こちらだと台を継ぎ足してあげるなんていう事をして、ロータ

リーに入りやすいロータリー活動がしやすいという環境を整えてあげましょうというような考え方がエクイティだそうです。これ会社なんかでも結局人材をいかに登用するか、そしてその人材をどうやって活かしていくかというようなことがまあ一つこのエクイティとかダイバーシティ、更にこの後出てくるインクルージョンなんかでも必要とみなされて今注目を浴びてるそうです。

次にインクルージョンが出てますが、1人1人の多様性が認められ誰もが組織に貢献できるという包括性を意味します。グローバル化が進み異なる文化背景を持つ同僚と働く機会が増える中、組織には多様な人材が活躍できる場を提供することが迫られていますという事です。先程の説明とだぶるかもしれないですけど、今DEIが、ロータリーや企業にとって必要な重要なものかということを書いてあります。理由の一つとしては、DEIによって多様な人材が能力を最大限に発揮できるようになりイノベーションが生まれやすくなる点が挙げられます。結局、カテゴライズして今までに入らなかった人が企業や組織に入ってくることによって、イノベーションが起こりやすい環境を作れるんじゃないか。これ企業や組織の業績を向上させ、新たな活動や会員を生み出していくという土壌ができるんじゃないか。その結果、そういうDEIの活動を推進していくと、若い優秀な人材を引きつけて世界により良い未来を切り開くことができるようになりますというようなことだそうでございます。

先日の次年度の発表の時にですね、会員増強委員会が100人にすればいいんですかと、メンバーを。80人にすればいいんですかというお話がありましたけども、仮に100人にするのであれば是非これを採用していただいで、いろんな方をいっぱい入れていただければと思います。大体レジュメではこの辺りなんですけれども、ロータリー活動に関して今もお話しましたが、ロータリーで活動の中で一番有名な代表的なものの一つとしてポリオ撲滅というようなことがあります。皆さんもそれよくご存じだと思います。それに付随してロータリーという名前で冠していろいろ事業をおこなったりというふうになってくるんですが、今お話ししたDEIにしても奉仕にしても、正直一般の私たちが普段生活してる中で正直あんまり意識することもないし、ポリオと言われても正直きょとんという感

じですよ。日本にはないし。ただ、私が会長をやっていた時にちょうど非常に病気に関してはですね、大変な状況になりましてそれで休会等が発生したわけですけども。その時に、ポリオよりも今ワクチンのほうなんじゃないのみたいなことも考えました。そういった事ってやっぱり現場レベルだといろいろ感じる事が多いんじゃないかなっていうふうに思います。ですから、ロータリーという組織を紐解いていたり考えてった時に、非常に高邁な思想があったり、それに基づいた活動を行っているわけですけども、実際に単会、白河西であるとか白河ロータリークラブとかっていう所であったり、その中の吉野敬之であったりという、それは実際にですね、勉強として奉仕の部分というのは非常に感じたりして学んでいて人間として成長はしていけるメリットはあると思うんですけども、実際にそのロータリー組織に入っていく時に、この事を考えてこの事に魅力を感じていくのかなという、実際には違う方も多いかもしいです。これあくまで私の私見ですけども。

今ですね、組織というのはやっぱり人数が、数は力ということで、ここ何年前にロータリーの不文律が実際に一業種一名というルールがありましたけど、それは今撤廃されて一業種何名でも入っていただいて結構ですよというようなルール改正がなされております。先程の件もそうですけども、結局ロータリーは今、人数を入れたい。会員増強に非常に力を入れている。それは結局力に繋がることではあるんですけども、そういったところをもし行っていくのであれば、こういうような論理的な事をいろいろと説明するよりも、実際に西クラブがどれぐらい皆さんたちにとって楽しいクラブであるとか、野球愛好会楽しいよ、バイク愛好会楽しいよ、親睦委員会の皆でやる納涼祭とか楽しいよというような、そういったところをアピールしていくとロータリーの、実際ロータリーこの組織の良さとかが伝わっていくし、そういったところのほうに現実的に自分たちに非常に帰ってくる部分が大きいのかなというふうに思います。

ちょっと時間があるので、若干先程このRLI委員会、私が3年目の出向になるんですけども、こちらのほう事を若干お話させていただいて終わりにしたいと思います。本来ですと、このRLI委員会の委員長にでも来ていろいろなお話をさせていただくほうがメリット

が皆さんにとってもあるのかなと思うんですが、あんまり私、委員会に出てないので委員長にお願いできる立場にないので今回自分でやらざるを得ないなというふうなことなんですけど。

R L I って何かと言いますと、Rotary (ロータリー) Leadership (リーダーシップ) Institute (インスティテュート)、これは研究という意味だそうなんです。ですから、ロータリーのリーダーシップに関して研究を行っていますっていうようなことです。これも平井パストガバナーがもう7年程前に、まあ日本に入って来たのもそのぐらいなんですけども、先頭に立って2530地区の活動を推進してます。中目パスト会長の時にそれをやられて、私が引き継ぐ時にこれはもうラストだよと絶対出るようにという指示があって、私はその当時の堀田次年度幹事と一緒に受けに行った覚えがあります。

構成としては三部構成になります。パート1、パート2、パート3というふうにあります、主に具体的に何かというとこれはですね、奉仕、リーダーシップ、奉仕。また奉仕なんですけど、あと会員組織の強化というこの3つを活動の三本柱と捉えて、それを強化するためにどのようにリーダーシップを発揮していくのかということをお勉強するようなカリキュラムになっています。ですから、会長幹事に内定した方は是非一年間かけてこれを受けてくださいよというふうなことを言われております。実際に出ますと、全部ではないですけども、ほぼ出席されてる方は次年度の会長幹事、もしくはそれに準じるような方、地区の役員の方なんかほとんど参加されております。開催はパート1、パート2、パート3ということで三日間、時期が大体その年によって開催時期変わるんですけども、次年度次々年度ですから阿部さんは今日いないですか、多分受けられてるのかな。

次々年度に内定してる藤田さんはそれを多分今年度の案内が行くので、それを受けていただくようになるかと思っております。それを私は3年程やらせていただいているんですけど、去年「こちらのほうが内定したのでよろしくお願ひします。」といきなり電話かかってきまして、「いや、私は受けた覚えがないんですけど。」と言ったら、「いや、この委員会は1回入ったら逃げられない。」と言われました。自動的に次年度

も登録になるそうです。今年は強固に委員長に固辞したんですが、委員長も強固に逃げられないと言ってました。なので、私はもしかすると死ぬまでファシリテーターのまま走り続けるのかなと思います。ただ、委員会にあまり行ってないので非常に心苦しいんですけど、行くとですね、ロータリーに熱い方達が沢山いらっしゃいます。まあ、ロータリーに関して学んだりするのには非常に良い環境にあります。なにせ平井パストガバナーという方が常に委員会には来てまして、すべてのことを教えていただける。僕の器はおちょこぐらいなのに、バケツで3杯くらい何か入れようとするからほぼこぼれてしまって、皆様にフィードバックできることが少ないんですけども。そういう委員会です、唯一私が逃げられるとすればですね、私の跡継ぎができた時ですね。交代というふうになりますので、今言ったように非常に楽しい委員会です、是非来年からはどなたか代わりの方が見つかる私も非常に嬉しいなと思います。大変つまらない話で恐縮ですが、以上で私のほうからの担当のお話とさせていただきます。ありがとうございました。

■野球愛好会

吉野敬之監督

すいません。先程言おうと思って忘れてしまいました。失念してました、すいません。ロータリー甲子園大会東北大会の予選の福島大会がですね、明日前夜祭、明後日川俣で試合ということで、今期初の試合となります。これに勝ちますと東北大会の出場権が得られるわけですけども。明後日ですね、大会になります。試合がですね、1試合だけになっておりまして、参加が本当は4チーム参加の予定だったんですけど2チーム欠席が出まして結局1試合。

それも白河ロータリークラブとの試合ということで、川俣行く必要ないという話が出てるんですが、もう大会はグラウンドも抑えてホテルも抑えてるので、本来の目的の一つであります親睦をしっかりさせていただいてこようと思っております。皆さんもお時間ありましたら、1試合だけですけども応援に来ていただければ嬉しいと思います。

以上、PRでした。